



きらり

重点目標

「よく考え チャレンジし 一歩前へ」

ミッション

「すべての児童の可能性を引き出し伸ばす」

環境づくりで自己マネジメント!

今年もよろしくお祈りします。始業式で、冬休みの合言葉「一日ふたつ家族のために」が達成できたかどうか確認しました。食事の準備や片付けなど、家族のために多くの子供たちが行い大変うれしく思います。保護者の皆様の声かけ、ありがとうございました。3学期の合い言葉として、子供たちに「最後まであきらめない」、「一日ひとつ友達のために」の二つについて話をしました。達成できるよう励ましていきたいと思ひます。

さて、子供たちの自己マネジメント力を高めるためには、親として子供にどのようにかかわればよいか。前号では、「心の支え」について書きました。今回は、「環境づくり」について、下のチェックリストで確認願ひます。この自己マネジメント力を高めることは、親として子供への最高のプレゼントになると思ひます。

- テレビを消すなど、お子さんが集中して学習できる環境ですか。
- 目の届くところにいて、お子さんがいつでも相談できる環境ですか。
- 興味をもちそうな本や新聞記事を紹介していますか。
 - ・ 新聞に〇〇〇について、載っていたよ。読んでごらん。
 - ・ 来週の日曜日に、◇◇◇に行って、一緒に調べよう。
 - ・ □□検定に挑戦してみたらどうかな。



からだ言葉になる!

子供たちが、「そよー そよー」と春風になる。「ゆらー ゆらー」と春風に揺れる竹になる。「うーん うーん」と雪をおしのけるふきのとうになる。また、担任の先生が子供たちの中心で春風になり、子供たちは、ゆっくり回転する竹になる。子供たちは、迷いながらも実に生き生きと楽しく、それぞれが思い思いの動きをする。

これは、2年生の国語の時間に学習した工藤直子さんの「ふきのとう」を、体育の授業で体を使って表現した一場面。NPO 法人祈りの芸術「TAICHI-KIKAKU」理事長の大橋さんが、伝えた「からだ言葉になる」ことの楽しさや喜びを、子供たちの動きや表情から伺うことができました。ふきのとうの気持ちを、国語で学んだことをもとに、体育の授業で動きを通して、学びが深まった授業でした。

